



たいじゅ

大樹



平成23年度 鹿嶋市立平井中学校 第3学年通信 No.42 平成24年2月9日発行

♪ 進路情報。

千葉県教育委員会より、公立高校前期入試（2/14・15）の志願状況が発表されました。以下の通りです。

高校名	学科名	前期志願者数	全体定員	±	倍率	前期定員	±	前期倍率
佐原	普通科	299	280	+19	1.07	168	+131	1.78
	理数科	37	40	-3	0.93	32	+5	1.16
佐原白楊	普通科	177	200	-23	0.89	120	+57	1.48

千葉県の場合、**推薦入試は廃止**され、**前期/後期制**となりました。推薦入試ではないので、成績での受験資格はありませんし、中学校長の推薦も必要ありませんから、その高校を**第一志望**にしている人は**全員出願**することになります。したがって、高倍率になるわけです（その分、前期定員も多めに設定されています。佐原白楊高校普通科と佐原高校普通科では6割、理数科では8割を前期で合格という形にしています）。

ただし、千葉県の私立高校は茨城県より入試が遅く、私立の合格発表の前に公立の出願ですので、私立単願の人も公立高校に出願していますから、今後、**実際には前期入試を受験しない志願取り消し者が相当数出るはず**です。

さて、ある意味、千葉公立は**後期入試まで視野に入れて考える必要**があります。佐原白楊の志願者は、前期では57人オーバーですが、後期まで考えると逆に23人のマイナス。しかし、この状況はかなり変化する可能性があります。前期入試は茨城の推薦入試同様、志願先変更は認められていません。前期不合格者は後期入試（3/1）に臨むか、後期は受けずに併願の私立高校に進むという選択になります。後期の出願は2/23～24。この際は前期入試と異なる高校、学科への出願が可能ですし、いったん志願状況が発表され、その後に**志願先変更期間**（2/27～28）が設定されています（当然ながら千葉公立から茨城公立への変更はできません）。したがって、現在マイナスの佐原白楊も、佐原から移動してくる人がある程度いることが予想されますので注意が必要です。

